

第99号
 (発行所)
 真宗大谷派
 松岡山 廣讚寺
 中村区城屋敷町3-30
 TEL (052) 411-5301
 FAX (052) 411-5341
 携帯 090-1568-4623
 (E-mail)
 matsuka@kosanji.or.jp



名古屋別院
 宗祖親鸞聖人七百五十回忌御遠忌円成

4月22日～24日、4月26日～5月1日、東別院で御遠忌が厳修され無事に円成しました。多くの門徒が集まり、法要中は千名以上入る本堂もいつも満堂、境内もとてもぎやかになりました。廣讚寺からも多数の方が参詣されました。次回の宗祖八百回忌御遠忌は五十年後になります。今回、お参りが出来なかつた人もきれいに改修された名古屋別院へお参りにぜひお出かけください。



江戸時代の歎異抄

今回、別院の御遠忌で宝物館というコーナーが作られました。そこでは名古屋のたくさんの寺院から古い書物や軸が集められて展示されました。廣讚寺からも江戸時代に作成された歎異抄を出品いたしました。

17 歎異抄 (版本)

二冊 廣讚寺 (名古屋市中村区)

紙本木版・冊子装

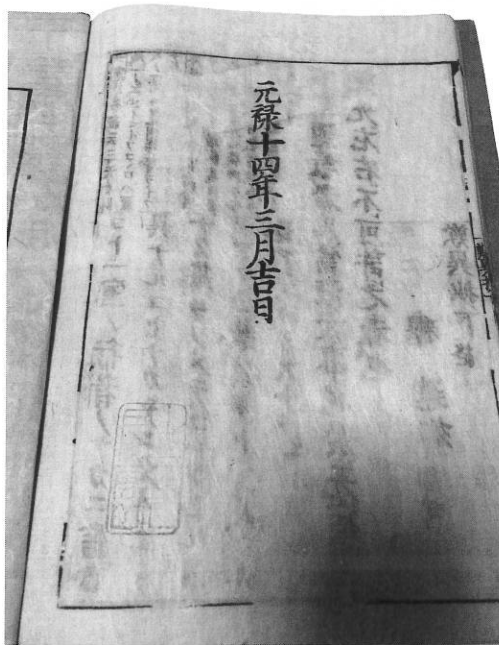
縦二六・〇cm×横一八・三cm

江戸時代

元禄十四 (一七〇二) 年三月版

『歎異抄』は親鸞聖人の言行録で、著者は門弟唯円房とされる。唯円が若年期に晩年の親鸞聖人より聞いた言葉など、覚えていたことを後に書きまとめたもので、全十八章からなり、前半を師訓篇、後半を異義 (歎異) 篇ということがある。第三章の「善人なおもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」をはじめ、親鸞聖人の思想を考える上で重要な言葉が満載である。なお、『歎異抄』を蓮如上人が禁書化したという誤った説があるが、江戸時代に普通に刊行されている。

(安藤 弥)





参加者からの声

4月26日の逮夜法要にお参りに行きました。別院の境内は大きなテントがいくつか設置され幕がかかっているなど大がかりな設営がしてありびっくりしました。本堂に入る前に受付に寄ってワッペンをもらい胸に貼り本堂へ。椅子席で指定席でした。法話は大変難しく、私にとっては難解でまったくわかりませんでした。法話の後、二百人ほどの法中が外陣、内陣に入場しました。そして登高座、次に正信偈をみんなで唱和しました。本堂内全体が厳粛なムードとなりました。帰りは、東別院会館に寄りコーヒーをいただきました。そこもすごい賑わいでした。

☆ ☆ ☆

4月30日午後五時から本堂で小説家の高橋源一郎氏によるパネルディスカッションが行われました。たく

さんの聴衆の中お話しをされました。

高橋氏は私を含め一般の人にもわかりやすくお話しをされました。ほとんど仏教用語を使われることなくお話をされ、自力他力の話もいろいろなエピソードを例に出しながら説明していただきました。本当に来てよかったですと思っています。

【20組行事予定】

六月 八日(水) 暁天講座…午前六時五十分～八時
法敬寺にて

「正信偈に学ぶ」講師 田代俊孝師

七月十二日(火) ご命日の集い…一時半

誠願寺にて

講師 松岡貴志

行事予定

六月 十一日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(日) 二時～四時 学習会

二十八日(火) 十時 二十八日講・女人講

七月 九日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は七時)

十九日(火) 二時～四時 学習会

納涼大会

二十四日(日) 夕方から 納涼大会

(雨天決行)

ボールすくい・輪なげ・
ビンゴ大会などなど…
楽しい催しものがいっぱい。
どなたでもご参加ください。



二十五日(月) 九時 後片付け

二十八日(木) 十時 二十八日講・女人講